

科目名		授業形態	担当教員名	
日常生活活動		講義・演習	岡田 誠暁	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間 （ 1 単位）		15 回	2 年次	前期
授業の目的・概要				
患者の日常生活活動（Activities of daily living ; ADL）の維持改善は、作業療法士が取り組むべき重要な課題である。この授業ではADLの基礎的知識、評価、動作別の特徴を学び、さらに疾患別のADLの特徴やその治療的介入方法について学ぶ。				
授業の到達目標				
1. 日常生活活動について説明ができる。 2. 日常生活活動障害の評価ができる。 3. 疾患別の日常生活活動とその援助法について説明ができる。 4. 日常生活活動障害の原因を分析し解決策を導き出すことができる。				
授業計画				
回	内容			
1	オリエンテーション			
2	日常生活活動の評価			
3	コミュニケーション			
4	自助具・福祉用具について			
5	疾患別ADLについて 中枢性疾患 片麻痺①			
6	疾患別ADLについて 中枢性疾患 片麻痺②			
7	疾患別ADLについて 脊髄小脳変性症 パーキンソン病			
8	疾患別ADLについて 筋ジストロフィー 筋萎縮性側索硬化症			
9	疾患別ADLについて 関節リウマチ 脊髄損傷			
10	疾患別ADLについて 呼吸器疾患 切断			
11	日常生活活動訓練の実際 発表①			
12	日常生活活動訓練の実際 発表②			
13	日常生活活動訓練の実際 発表③			
14	IADL 社会生活行為			
15	授業のまとめ			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験	80%	上記の授業の到達程度で評価する。		
レポート・課題				
小テスト				
平常点				
その他	20%	準備物・課題提出・グループ発表などの授業参加態度で評価する。		
自由記載				
教科書				
書名		著者・編集者名	出版社名	
新版 日常生活活動（ADL）第2版		伊藤利之・江藤文夫 編	医歯薬出版	
自由記載				
参考文献				
書名		著者・編集者名	出版社名	
標準作業療法学 身体機能作業療法 第3版		山口昇 編集	医学書院	
自由記載				
備考				
予定は、前後変更する可能性がある。その場合は通知する。 実技・実習の場合は、実習室で行います。各種道具を使用するため協力して準備をしてください。				